

第34回原子力委員会定例会議議事録（案）

1. 日 時 1997年5月27日（火）11:15～11:40

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 伊原委員長代理、田畑委員、藤家委員、依田委員
遠藤外務省科学原子力課長
瀬山保障措置課長
（事務局等）村田原子力調査室長
池本専門委員
保障措置課 安藤
原子力調査室 松尾、杉本、新井

4. 議 題

- (1) IAEA保障措置の強化・効率化方策にかかるモデル議定書の採択について
- (2) その他

5. 配布資料

資料1 第33回原子力委員会臨時会議議事録（案）

資料2-1 「93+2計画」第2部に関するモデル議定書の採択について

資料2-2 Committee on Strengthening the Effectiveness and Improving the Efficiency of the Safeguards System (Draft Model Protocol)

6. 審議事項

(1) 議事録の確認

事務局作成の資料1第33回原子力委員会臨時会議議事録（案）が了承された。

(2) IAEA保障措置の強化・効率化方策にかかるモデル議定書の採択について

標記の件について、外務省及び科学技術庁より資料2-1、資料2-2に基づき、採択までの経緯、モデル議定書における諸方策の概要、モデル議定書の取扱い等について、報告があった。

これに対し委員より、

- ・ IAEA保障措置の効率化のため、環境サンプリングの分析技術などの分野において我が国としても技術協力の貢献をすべき
 - ・ 本件に関する関係者の努力に感謝する
- 等の意見があった。